

# うさぎこども園 令和4年度 自己評価表

社会福祉法人彩明会 うさぎこども園  
作成者：園長 白石亮子

## 1. 園の保育目標

知・徳・体のバランスのとれた保育

1. 心身ともに健康な子ども 2. 誰とでも仲良くできる子ども 3. 想像力のある子ども

保育姿勢：保育者は子どもとともにあり 人それぞれに花あり

## 2. 本年度の重点目標

- ・低年齢児や長時間保育児が増えることを踏まえ、子どもが常に安全に生活できるような環境を整える。
- ・生活の場としての役割を踏まえ、子どもの思いを受け止め、安心して過ごせる環境となるよう配慮する。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況【評価 … A：良 B：可 C：要改善 D：非該当】

### I. 保育計画の編成と実施に関する評価

項 目			評価	備 考
子どもの発達援助	発達援助の基本	1 指導計画は保育目標に基づき、また子どもの実態に照らして作成されているか。	A	年度初めに園長が作成した年間計画を基に、各学年の職員が年齢別の計画を作成した。
		2 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定しているか。	B	
		3 子どもの発達や興味関心などの総合的な育ちのようすをよく観察し、保育に活かしているか。	A	
	保育内容	1 子ども一人一人への理解を深め、受容することに努めているか。	A	保育目標の達成を目指して、環境設定や職員配置なども工夫し、保育を実践できた。 障害や特性のあるお子さんについては、対応できる限りの支援をしたいと考えているが、専門的な知見などが十分でない部分もあるため、研修への参加など職員の学びの機会の提供や、園内研修の機会も充実させたい。
		2 生活を通して人間関係が育つよう配慮しているか。	A	
		3 身近な自然や社会と関わるような取組みがされているか。	A	
		4 経験から学びを得ることを意識した保育を実践しているか。	A	
		5 様々な表現や創作の活動が自由に体験できるよう配慮されているか。	B	
		6 子どもの人権に十分配慮するとともに互いの違いを認め尊重する心を育てるよう配慮しているか。	A	
		7 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	B	
		8 インクルーシブ教育に努め、障害や特性へ配慮した生活支援や、担当する職員への学びの機会の提供などの環境を整えているか。	B	
	保育環境	1 子どもが心地よく過ごすことのできる環境が整備されているか。	B	こども園移行に合わせ環境を整えたが、生活の中で不足を感じた際は随時整備した。
		2 子どもが自発的に活動できる環境が整備されているか。	A	
		3 育ちに合わせた環境構成を意識し、工夫しているか。	A	
	健康・食事	1 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルを規定して適切に実施しているか。また、マニュアルは職員に周知されているか。	B	体調不良時の対処法などは決まっているが明文化したマニュアルは今後整備する必要がある。 保健計画は様式改訂の余裕がなかったが1・2歳児の内容を盛り込んだものに改定する必要がある。
		2 健康な心身を育むため具体的保健計画を作成し、保育に反映しているか。	C	
		3 感染症への対応はマニュアルを規定しているか。また内容は適切か。	B	
		4 アレルギーをもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか。	A	
		5 食事を楽しむことができる工夫をしているか。	B	
	行事	1 行事の種類や実施回数は適切か。	B	各行事の目的を再度職員と共有し、意義深いものになるよう見直しを行いたい。
		2 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	B	
		3 発達に合わせ、自主的・実践的な活動になるよう工夫しているか。	A	
		4 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	B	

## Ⅱ. 保育の実施を支える諸条件に関する評価

項 目			評価	備 考	
運 営	組 織・運 営	1	管理者およびその他職務リーダー等の責任が明確にされ、リーダーシップを発揮しているか。	B	こども園移行に伴い採用が困難だったため人員の配置が不十分(配置基準は満たしているが現場として不足の状態)だったが、改善を目指し年度途中も採用を行った。 こども園移行による働き方の変化等に伴う混乱も多く、会議等の機会が不十分だった。 全職員での会議等が難しいため、会議録の共有なども含め、機会と環境を整えていきたい。
		2	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているか。	A	
		3	役職や職務の割り振り、職員配置などの組織構成は適切か。	A	
		4	職務における役割が明確にされ、園児や保護者へ迅速な対応ができる体制があるか。	B	
		5	全員がそれぞれの職務・役割を全うするよう努めているか。	B	
		6	職員同士が協働しやすい環境が整えられているか。	A	
		7	職員同士が安心して助言や意見を交わせる環境が整えられているか。	A	
		8	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能しているか。	B	
		9	評価結果にもとづき園として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施しているか。	B	
		10	会議を適切に行い、必要な情報を共有できているか。	B	
		11	会議録等は適切に記録・集積されているか。	A	
	職 場 環 境	1	職員が意欲的に働けるような評価の仕組みや環境はあるか。	A	法人としてキャリアアップ制度があるが、保育職は今年度は対象外だったため、今後基準を設定し環境を整えたい。
		2	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場環境づくりに取組んでいるか。	B	
		3	職員の育成や、資質向上を支援する取組を行っているか。	B	
	年 齢・ク ラ ス 別 経 営	1	学年・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	A	学年担当の常勤職員によって設定した目標及び計画を、補助の非常勤職員にまで十分に周知することが出来ていなかった。
		2	学年・クラス目標は、子どもの実態に即して設定しているか。	A	
		3	学年・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	B	
		4	同年齢及び異年齢児間の関わり合いの機会の充実を図っているか。	A	
		5	意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	A	
		6	評価、資料（諸記録）を集積しているか。	B	
	研 究・研 修	1	職員の研修ニーズを把握し、適切な研修機会を確保しているか。	B	保育への人員配置に手一杯となり、十分な研修の実施が出来なかった。 外部研修に関する情報の発信や共有も今後積極的に行いたい。
		2	主題は保育目標の具現化につながるものであるか。	B	
		3	研修の計画・運営は適切か。	C	
		4	研究の成果を日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させているか。	B	
		5	各種外部研修会への参加態勢の充実を図っているか。	C	
	情 報	1	子どもや保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	A	個人情報の取扱いについて入園のしおり(重説に相当)に明記しているが、承諾書の記載も併せて依頼するようにしたい。
		2	個人情報の取扱い方法等について保護者に明示し、承諾を得ているか。	B	
		3	公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	A	
		4	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A	
安全・衛生	管 理 指 導	1	避難訓練・各種安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	B	避難訓練や消火訓練の実施回数などの規定が幼稚園とこども園で異なるが、それを把握できておらず回数が不足する結果となった。
		2	日常点検やプール日誌等、必要な様式を整備し適切に管理しているか。	B	
		3	子どもの安全確保のため家庭・地域・関係機関等と連携を図っているか。	B	
		4	事故や災害に備えたマニュアルがあり、全職員に周知されているか。	B	
		5	清潔物と非清潔物の区域分けや管理などは適切に行われているか。	A	
		6	おもちゃや遊具等は適切に清掃されているか。	B	
	施 設 設 備	1	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	B	園遊具について劣化等も見られている為、今後修繕や入替を検討したい。
		2	遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	B	
		3	防犯に配慮し、必要な設備等を整えているか。	A	

項 目			評価	備 考	
開かれた園作り	家庭・地域との連携	1	子どものようすなどについて家庭と情報の相互共有に努めているか。	A	送迎時等の日常のやり取りだけでなく、気になる様子があった場合にはお電話の連絡や個別に面談機会の設定等を行った。子どもの育ちについて、職員と保護者が共に学ぶような機会を今後ぜひ設定していきたい。
		2	生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	B	
		3	子どもの発達や育児などについて、保護者と共通理解を得るための機会を設けているか。	B	
		4	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、適切かつ速やかに対処しているか。	A	
		5	保護者や地域と連携した取り組みを実践しているか。	A	
		6	地域社会・学校やその他の施設等との交流をはかっているか。	B	
	子育て支援の推進	1	子育て支援の取り組みを行っているか。	B	子育て支援の取り組みは未就園児教室の開講にとどまった。今後地域のニーズに合わせた企画等を検討していきたい。また、法人内の他事業所(発達支援センターやカフェなど)とも連携した企画も実施したい。
		2	地域の子育てセンターとして集える場(園庭・保育室)を提供しているか。	B	
		3	園や地域の保護者を対象とした子育てに関する学習機会を設けているか。	C	
		4	職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	B	
		5	医療機関、発達支援センター等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	B	
		6	地域の保育ニーズの把握に努め、事業に反映させているか。	C	
	実習等	1	実習生受入の意義を理解し、その方針を職員へ共有しているか。	B	実習生・ボランティア等の受け入れを積極的に行った。
		2	ボランティアや学生アルバイトの積極的な受入れ等、保育を志す学生への学びの機会の提供に努めているか。	A	
	情報提供	1	運営の透明性を確保する為の情報公開が行われているか。	A	法人運営に関する情報は法人のウェブサイトで公開しており、園の情報に関しては、来年度中に公式サイトをリニューアル予定である。
		2	保護者及び外部への情報提供は、分かりやすく伝える工夫や配慮をし、適切に行われているか。	B	
		3	お便りやウェブサイト、SNS等で施設の情報を発信しているか。	B	
		4	行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	C	
		5	第三者評価を導入しているか。	C	

#### 4. 総評

こども園への移行に伴い、職員の働き方の変化や1・2歳児クラスの新規設置、長時間預かり児の増加や保育提供日程の増加等、とにかく新しいことばかりの中、職員の力を大いに借り、全員が一丸となって何とか完走した一年だったように思う。細かい規定やマニュアル、各種様式の整備、環境構築、職員の業務内容の見直し等課題は最後まで尽きなかったが、紹介業者からの採用等により人員配置に多少余裕が出てきた部分もある為、子どもにとってより良い保育及び教育の提供と、職員にとって働きやすい職場環境の両立を目指し、今年度の経験を次年度に還元したい。また総じて、PDCAのうちCとAに時間や労力をかけることが不足していた一年だったため、振り返り・検討・情報共有の場となる職員会議の機会を充実させられるよう、人員配置等の組織経営も改めて見直していきたい。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員間の情報共有	定期的な朝礼・夕礼に全職員が参加することが難しくなったが、可能な限り実施し、そこでの情報を共有する為のフォーマットを整備する。また、保護者へのメール配信などに使用しているバスキャッチシステムは園児情報に関するオンラインDBの役割も備えている為、情報共有に役立てるとともに、その使用方法や管理の為の規定等を改めて整備したい。 また、マニュアルや各種規定については、専用の書棚などを職員室入口などの分かりやすいところに設置し、いつでもすべての職員が容易に確認することが出来る状況にするとともに、マニュアルの読み合わせの機会や、マニュアルを活用した園内研修の設定なども検討したい。

以上